

③ 障がいの程度が比較的軽い児童については、担当者が付き添い交流学習が可能になっている。

④ 障がいの程度に応じて、遊び・自立・生活单元などの学習を合同で行なえるため、教材準備などを協力して行なうことが可能である。

・今後の課題  
校外での行事や地域での学習の際には人手が足りず、支援体制を十分に確保するためには、人員補充が課題となっている。

## 2. 報告事項

(1) 平成21年度社会教育施設の利用状況について

体育施設や文化施設はともに利用者数は平成20年度に比べ減少している。そっち岳スキー場は滝川市、奈井江町、浦臼町、上砂川町などの近隣市町の学校でのスキー教室に利用されている。図書館の貸出冊数は前年に比べ微増となっている。

(2) 平成22年度工事の発注状況と今後の見通しについて

・工事発注予算額  
10億5,358万4千円

・発注額  
6億3,667万7千円

・執行率  
60・4%

・発注予定件数  
59件

・工事発注済件数  
21件

・今後発注予定件数  
38件

(3) 21世紀高生産基盤整備推進事業の進捗状況について

・事業採択された地区  
22地区

・平成21年度未完了地区  
14地区

・平成21年度までの事業費  
27億9,784万4千円

・進捗率  
79・8%

・平成22年度予算要望額  
18億2,400万円

・平成22年度国の予算配分額  
8億2,500万円

(4) 平成21年度中山間地域等直接支払交付金について

平成17年度から5年間、集落認定を受け平成21年度が最終年度となっている。平成22年度以降も引き続き制度が継続されることとなっているが、内容は提示されていない。

国から内容が示された段階

で、集落説明会を予定している。

(5) 平成21年度農地・水・環境保全向上対策について

・交付金算定対象農地面積  
2,485・56ha

・共同活動組織  
7地区

・基礎支援に係る金額  
8,450万91千円

・営農活動組織  
2地区

・営農活動支援に係る金額  
534万7千円

・支援金の負担割合  
国50%、道25%、町25%

(6) 平成22年度水稲作付面積について

・対象水田認定面積  
4,324・59ha

・水稲作付面積  
3,593・25ha

・水稲の主な品種別作付面積  
ななつぼし 1,725ha

・きらら397 1,055ha

・ゆめぴりか 343ha

・転作面積 716・79ha

・主な転作作付面積  
大豆 92ha

・そば 199ha

・たまねぎ 33ha



▷小学5年生による田植え体験

(7) 平成21年度農用地の権利移動状況について

・農地の売買 498・102㎡

・農地の賃貸 (売買件数 25件)  
1,071・427㎡

・離農者 (賃貸件数 65件)  
9戸

(8) 農産物ブランド化事業の進捗状況について

・農産物ブランド化推進協議会(関係9団体により構成)

・農産物ブランド化推進活動支援事業

・ブランド産品推奨事業

・アンテナショップ調査、研究事業

## 編集後記

議会広報をご覧頂きありがとうございます。

昨年の冬から今年の雪解けまで、この雪がいつになつたら無くなるのか、春がいつ来るのか、不安な日々を送られた方もいるのではないのでしょうか。

今年のように短い春から突然初夏に(6月5日以降)なるとは今までに記憶が無く、思いもよらない大変ありがたいことでもあります。

5月25日に発表された向こう3カ月の長期予報では、平均気温は平年より低い確立が高く、また、降水確立は平年より高いとのことですが、この予報はあくまでも予測で、本誌が届く頃には、稲の新緑がさらに深く、出穂の準備が出来た豊かな水田を楽しみに期待したいと思えます。

(西永)

### 【議会広報特別委員会】

委員長 西永 勝治  
副委員長 樋坂 里子  
委員 青田 良一

山田 秀明  
笹木 正文  
岩木 雅徳